

**第9回「淀川水系ダム事業費等監理委員会」
の議事概要について
～ 天ヶ瀬ダム再開発事業 ～**

1. 開催日時：平成28年9月26日（月）10：00～12：20

2. 開催場所：ガーデンシティ京都 7階【橘】
（京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町 721-1）

3. 委員：岸田 潔（京都大学大学院工学研究科 准教授）
佐々木 一英（国立研究開発法人土木研究所 水工研究グループ長） 欠席
角 哲也（京都大学防災研究所水資源環境研究センター 教授）
鄭 小平（立命館大学経済学部 教授）
◎深 川 良一（立命館大学理工学部都市システム工学科 教授）
◎印は委員長（50音順・敬称略）

4. オブザーバー 滋賀県・京都府・大阪府・関西電力(株)

5. 議事概要：

天ヶ瀬ダム再開発事業について、事務局よりコスト縮減策の説明、減勢池部におけるF0破砕帯の追加対策及び構造変更、重金属等含有岩石の処理の追加等についての報告を行い、これらについては、適切に行われていることをご確認いただいた。

また、事業費は590億円（160億円増）、工期は平成33年度（3年延期）になる見通しについて説明をおこない、委員より下記の意見をいただいた。

（委員からの意見）

- ・トンネル工事において、事前に地質条件を詳細に把握することには限界がある。今回判明した条件で十分な安全性を確保するためには補助工法や種々の対策を導入せざるを得ず、事業費の増額及び工期の延長についてはやむを得ないと考える。
- ・引き続き、コスト縮減や工期短縮に努め、事業監理を行うこと。
- ・増加要因に係わる項目については、今後の教訓として活かせるよう、当初の判断と実績等について、整理しておくこと。
- ・今後の説明資料については、増額要因とコスト縮減策の詳細、数値解析の条件や追加対策の効果等の補足等、記述方法の工夫を行うこと。

以上